

テーマ：子どもの「泣き」への対応

ねらい

子どもの「泣き」は愛着行動の一つ。しっかり答えてあげることが必要ですが、イライラするのも事実です。場面別での対応・言葉かけについて考えてみましょう。

時間	主な活動	留意点
2	<p>【はじめに】</p> <p>「泣き」の行動が場面ごとにどのような形で見られるのか。今日は皆さんで情報交流しながら、わが子の「泣き」とその対応について話しましょう。そして、参考になった対応、他の人にも伝えたい対応を考えてみましょう。</p>	
5	<p>【アイスブレイク（例）】</p> <p>アイスブレイク集参照</p>	
5	<p>【アクティビティ】</p> <p>①子どもの「泣き」への対応を記入する。 <u>準備物：ワークシート</u></p>	<p>①寝るとき、食事のとき、外出のとき別に困った状況と対応を具体的に書いてもらう。</p>
15	<p>②グループで一人ずつ発表する。 場面別に「泣き」への対応と参考になった対応、他の人にも伝えたい対応を決定する。</p>	<p>②参考になった対応、他の人にも伝えたい対応の理由を全体への発表時に説明するように伝えておく。</p>
18	<p>③各グループの参考になった対応、他の人にも伝えたい対応を全体に発表する。</p>	<p>③発表に応じて、参考になった対応、他の人にも伝えたい対応のもとになった事例を話してもらう。</p>
3	<p>【リフレクション】</p> <p>①今日のワークショップで感じたこと、参考になったことをワークシートに記入する。</p>	<p>①子どもの反応を想起しながら考えてもらう。</p>
2	<p>【まとめ】</p> <p>今日は、子どもの「泣き」への対応から、子育てへの姿勢を話し合っていました。「泣き」は子どもの愛着行動の一つで、親がしっかり答えてあげることによって愛着形成につながります。理由がわかりにくいとイライラすることもあると思いますが、おおらかな気持ちで接しましょう。</p>	